

同和問題・ドラマ

NO	タイトル	時間	ビデオ 媒体	字幕等	所 管
1	橋のない川	139分	VHS	—	人権啓発課
	(1991年作品) 「明治・大正」の時代背景のもとに奈良の同和地区を舞台にして、厳しい部落差別への義憤とそ の中で培われていく人間のやさしさや尊厳を土台にして、全国水平社が創立されていくまでを描 いた作品です。				
2	ちいさな指輪	55分	VHS	—	人権啓発課
	(1988年作品) 結婚式に憧れている二人の中学生が仲良しになった。そんな時、同居中の叔母が婚約者を連れ てくることになった。この作品は、同和問題を子どもの眼を通して描くとともに、周りの大人たちが子 どもの純粋な心にふれ差別意識を克服していく過程を描いています。				
3	心の壁	54分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1990年作品) 同和問題研修推進員になった主人公が、企業や社会に残る差別意識や偏見の中で苦悩しま す。かつて差別の現実から逃げた彼は、今、揺れ動く心の中から自らの意識を変革し、現場の意 識も変えていこうとします。その中で何を学んでいくか。何をなすべきか。その生き方を描くことによ り、今日の人権問題を考えていただく手がかりを提供しています。				
4	星空のハイスクール	54分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1989年作品) 文字を覚えるために識字学級に通っていた母親が、その後、息子が通う定時制高校に入学し、 若いクラスメートとの友情をとおして人生をみつめなおします。				
5	竹の子のうた	54分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1989年作品) あることから若い青年と出会った主人公が、識字を通して文字の読み書きに苦しみながらもたくま しく生きる人たちをみて、勇気づけられていきます。				
6	もっとフレンドリーに	54分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1992年作品) 二人の子どもを持つ母親が、子どもたちに次々と起こる出来事から次第に差別意識を持つ自分 に気づいていきます。				

7	心みつめて	47分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1991年作品) 周囲の結婚差別の壁を乗り越えて結婚した若い夫婦。ある日思いがけない出来事から二人の心は揺れ動きます。				
8	一枚の案内状	20分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1989年作品) 同和問題の企業研修実践をより豊かなものにするためにご活用ください。				
9	企業と同和問題	30分	VHS	—	労働雇用政策室
	ある企業の新入社員に対する同和研修を舞台に、企業の方々に同和問題を正しく理解していただくために作られた作品です。				
10	家族の条件—優子の青春物語—	70分	VHS	字幕	人権啓発課
	(1994年作品) ごく平凡な祖父と孫の暮らしが、突然ふりかかる部落差別によって砕けそうになる光景を描いています。差別もボーダーレスの時代といわれる現代、差別をする、されるの境目は見えにくくなっています。言いかえれば誰もが被害者にも加害者にもなり得るわけです。物語のキーマンである祖父は、そのことに気づくのに20年かかりました。物語は「差別が加害者をも不幸にする」という核心にふれて、深い問いかけをしています。				
11	母たちの応援歌	54分	VHS	—	人権啓発課
	(1993年作品) この作品は、同和問題の理解者を主人公に据え、心ない人々からの中傷により壊れそうになる家庭を、人生の先輩であるそれぞれの母たちの助言により夫婦の絆を取り戻し、差別に立ち向かう真の理解者に成長していくさまを描いています。				
12	にぎやかな家族	55分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1991年作品) 東京のサラリーマン家族が関西のある同和地区に引っ越した。初めて出会う同和問題への家族一人ひとりの反応と態度の変容を明るく伸びやかなタッチで描き、心の奥にひそむ差別意識の克服に努力する過程を通して、人間どうし心から結びつくことの素晴らしさを訴えます。				
13	辞表	38分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1992年作品) 希望に燃え女性専門職として入社した秀美だったが、何気ない一言一言が同和地区出身の秀美には絶えられない日々が続き、生きる望みさえ失いかけた……。がその時、同僚・上司・先輩のかけてくれた言葉が秀美の心を動かし、消えかけていた人への信頼の灯火が、再び燃えはじめました。				

14					
15	輝ける日々へ	42分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1993年作品) 希望に胸をふくらませ、社会に飛び立とうとする少女の前に差別の厚い壁が立ち塞がる。本人の能力・適性以外のことが採用の基準にされた場合…。				
16	明子のハードル	41分	VHS	—	人権啓発課
	(1993年作品) 中2の明子と母親を主人公に、一人親家庭ゆえに差別されていると思っていた明子が、親友をめぐって学校で起きた事件を契機に、自分も親も差別する心を持っていたことに気づき、差別をしない、差別を許さない、差別に負けない心を持つまでの物語です。				
17	父の一番長い日	54分	VHS	—	人権啓発課
	(1994年作品) 一人娘から交際相手が同和地区出身であることを知らされ、結婚に反対する父親。その父親の職場で部下が客から差別発言を受けトラブルを起こす。そのため、上司として、父親としてどうあるべきかを悩み、考え、自ら意識変革を行なっていく…。				
18	はるか素顔の19歳	54分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1995年作品) この作品は、プロゴルファーになる夢を抱いてゴルフ場で働く若い女性が、一人悩むものの、先輩や友人の誠実な生き方を学び、勇気づけられ、力強く生きる姿を描き、今日の人権・同和問題について考える手がかりを提供する作品です。				
19	春をまつ雪	53分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1995年作品) 私…こんな位で負けません。今まであったこと決して忘れません。 でも、思い出したりはしない。前をむいて生きていきたいから…。 私の家族がいるから！ 差別された悲しみをのりこえて支えあう喜びと愛に生きる感動のドラマ！				
20	心のどこかに	30分	VHS	—	人権啓発課 労働雇用政策室
	(1994年作品) 自分の心に差別心が…が。人間は、この世に同じように生をうけながら、生まれた所や、住んでいる所によって差別を受ける。そんな不合理なことがあっていいのでしょうか…？				

21	虚構	56分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1995年作品)</p> <p>現代社会の憂えるべき一つの特徴として、営利追及のために自分の主体性が損なわれ、人間本来の正義感や誠実さなどが失われるという傾向があります。こうした人間疎外の原因が部落差別を温存することにつながってしまいます。この映画は、そうした青年の苦悩と生きざまを描きながら、その姿勢を叱咤しながら友情の絆を保とうとするもう一人の青年と向かい合わせ、その差別構造を見抜き人間としてあるべき姿を求めていきます。</p>				
22	霧の中の真実	54分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(1995年作品)</p> <p>20年前、地名総監を購入した会社の一社員として知り合った二人が会社を辞めた後、再びかわりを持つ。地名総監とは、企業にとって何を意味したのか。地名総監を契機として、本当の自分を求めようとする二人の男性を通じて、企業の在り方を鋭く問いかける。</p>				
23	八人は考えた	30分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(1994年作品)</p> <p>ある職場に差別事件が起きた。本作品は、その事件を契機に、差別された青年の同僚や上司たち八人で持たれた会議の過程を、同時進行形でみていくことを通じ、職場の啓発がどうあるべきか、不況下の企業の生き残りどう結びつくかを問いかけます。</p>				
24	ザ・会社 ～えせ同和行為をなくすために～	40分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>えせ同和行為による被害はどの会社にも起こる可能性があります。これに直面した担当者を主人公に、彼が何に悩み、どう対処し、どう解決していったかを描き、それを排除するには会社をあげて取り組むことがいかに大切かを訴えます。</p>				
25	私は負けない	25分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1992年作品)</p> <p>生まれついてのくせ毛の少女が、みんなにからかわれ、悩んでいた……。いじめや部落差別に苦しんでいる子どもが自らの力で、その不当性に立ち向かうことの大切さ、さらに自分たちのもっている気づかざる差別意識や優越感に気づくことの大切さを描きます。</p>				
26	雨あがり	55分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(1997年作品)</p> <p>あなたの地域や職場、身近なところに差別はありませんか？金融破綻があいつぐ日本！銀行に勤める若者が同和問題に直面し、上司の間違った考え方を正していきます。そして「正しく人を見る」「正しく企業を見る」心が大切であることを学びます。</p>				

27	大山君、奮戦す！	56分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(1997年作品)</p> <p>同和問題の解決のために、企業は地域社会の一員として果たすべき役割と責任を負っており、企業としての啓発活動への積極的な取り組みが求められています。この作品では、見せるだけでなく、それを素材として議論していただくための問題提起型の内容として3作の短編からなるオムニバス形式で、1作品だけでも研修の題材として活用できます。</p>				
28	明日(あした)にスウィング	50分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1997年作品)</p> <p>結婚を考える若い二人が周囲の無理解と偏見に対し、ジャズを通して集まった仲間の協力を得ながら差別に立ち向かっていく姿をさわやかに描き、同和問題解決への積極的な態度と実践力を育て、人権尊重の精神を基盤とした差別のない明るい地域づくりを目指す一步となることを願って制作されました。</p>				
29	メゾン風の丘	53分	VHS	字幕	人権啓発課
	<p>(1998年作品)</p> <p>風の丘と名づけられたマンションの理事会で、このマンションが安いのは同和地区だからだという話が起こった。住人たちはその場では関係ないことと平静さを装うが…。皆が幸せに暮らすために、私たちはどう生きるべきかを考えます。</p>				
30	おばあちゃんありがとう	52分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1999年作品)</p> <p>差別で文字を奪われながらも、一生懸命生きてきたおばあちゃん。</p> <p>そんなおばあちゃんの生き方から人間として共に生きる喜びと輝きを取り戻した家族や周囲の人々が、それぞれに新たな生活へと旅立っていく。この作品は差別の現実に向き合い、支えあう中で、お互いに理解し合いながら、差別のない家族・地域をつくる実践のあり方を示唆し訴えようとするものです。</p>				
31	わかりあえる季節(とき)	52分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(1997年作品)</p> <p>「自分は差別していない」と思っている人たちの心の中にある差別性を気づかせる内容で、差別のない家庭・地域・職場・学校等をつくるための実践のあり方を示唆し、部落差別の解消をねらいにしたものです。実際に起きた差別事象をもとに構成されており、物語は、在日韓国・朝鮮人に対する差別をはじめ日本における様々な人権問題をからめて展開されていきます。</p>				

32	素顔の心で～えびす食堂幸せばなし～	53分	VHS	—	人権啓発課 労働雇用政策室
	<p>(2000年作品)</p> <p>数知れない昼と夜のはざまで、交錯する人々。幸せを求め、安らぎをしよう日々の暮らし。素顔の心で、みんなが手をつなぐために私たちは、いま……。</p>				
33	勇気への出発	52分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(1998年作品)</p> <p>「差別は悪い」と思っても、自分が差別に直面した時、隠れていた偏見や差別意識があらわになる人、問題の解決に努力する人、人間の強さと弱さが浮き彫りにされます。この作品は、人との出会いの中で“差別をなくす”営みへと、全ての人たちの意識が変わっていくための「ほんとうの勇気」とは何かを問いかけています。</p>				
34	風かよう道	35分	VHS	—	労働雇用政策室
	<p>(2001年作品)</p> <p>この作品は、古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、占い、穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開していきます。鑑賞するだけでは終わらない、人権・同和問題において学習すべき問題点をしっかり提起する教材用ドラマです。</p>				
35	だけん・なん	58分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2000年作品)</p> <p>熊本地方の方言で「だから、なんだ」と言う意味です。高校時代、県内有数の長距離ランナーに成長しながら、同和地区出身ゆえに就職差別を受けたことで走ることをやめてしまった亜希子は、小学校の息子が差別を受けたことから、差別や偏見に負けない家族の姿を示すために再び走ることを決意します。差別や偏見の不合理性を訴え、併せて次の世代の子どもたちに、いじめや差別に立ち向かう勇気を伝えることの大切さを描いています。</p>				
36	バースディレストラン	30分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2000年作品)</p> <p>中学3年生の主人公が、父親の死によって初めて両親の離婚の原因が部落差別だったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでの姿を描いています。この作品を通じて、親子の絆を断ち切り、家族愛まで奪ってしまう部落差別とは何か、また、部落差別を支えている様々な社会意識などにも目を向けながら、人間の本当の幸せとは何か、差別を許さない生き方とはどのようなものかを今一度考えるための手がかりに。</p>				

	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第1巻 更池の語り部・吉田小百合	30分	VHS	—	人権啓発課
37	(1998年作品) なんで読み書きできへんねん・・・学校いかれへんから なんで学校いかれへんねん・・・金ないからです なんで金ないねん・・・・・・そこに部落差別があるからです 吉田小百合さんの差別の中で生きてきた誇り、生い立ち、子育て、命を慈しむ、思いが綴られる。				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第2巻 人の値打ちを問う	25分	VHS	—	人権啓発課
38	(2000年作品) 江口いとさん、1912年生まれ。人権の詩として広く知られる「人の値打ち」の作者であるいとさんは、息子の差別、孫の差別と3代にわたる差別を経験してきた。就職・結婚・学校現場での差別体験に基づく人間存在への視点は鋭く、しかし暖かい。				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第3巻 あした天気になあれ	27分	VHS	—	人権啓発課
39	(2000年作品) 人権問題を明るく、元気に前向きに捉え、行動する松村さんが、子どもたちの中に飛び込み、人間を育てる姿を追う。				
40					
	元気あります	53分	VHS	—	労働雇用政策室
41	企業内での現実をリアルに捉えながら、人権問題研修担当の主人公とその仲間たちとの葛藤とさわやかな青春群像を描いた作品です。同和問題研修開催という一つの目標に向かって、主人公が日夜大奮闘します。				
42					
	メール	54分	VHS	—	人権啓発課
43	(2001年作品) ホームページ上での、悪質な差別的記事で被害を受ける人が急増しています。便利で有益なインターネットが、イタズラや人権侵害に使われることがあってはなりません。この作品は、身に覚えのない中傷や同和地区出身であるなどと、ネット上の掲示板に書き込まれた女子高校生の、精神的な苦痛を題材にしています。いわれのない非難と、一方では親友への自責の念に落ち込む主人公が、同級生やブラスバンドの仲間の応援、両親や周囲の大人たちの支えで、自ら立ち直っていく姿を描いています。				

44	夢の約束	53分	VHS	字幕	人権啓発課
<p>(2002年作品)</p> <p>飛び出そうとしているのに立ちすくむ若者たち。そんな彼らにも出会いがあり愛が芽生える。自分らしく誇りをもって生きるには・・・いま音も心もひとつに合わせて果たす「夢の約束」。伝統的な部落の産業であり、文化でもある「太鼓」を軸に、自分らしい生き方を求める人びとの葛藤をえがきます。</p>					
45	若い波紋	57分	VHS	—	人権啓発課
<p>(1996年作品)</p> <p>真紀と恵の通う高校に文子が転校してくる。文子のウェーブのかかった髪は、校則違反との声もあがるが、実は天然パーマであった。誤解を解き、仲良しになる3人。恵と文子は、兄のテレビ局で部落問題を知る。真紀はボランティアで差別の現実遭遇する。「人権研究部」を発足させ、差別の実態を知っていく3人。そして、人権週間に、実際に聞いた部落差別の話に基づいた演劇を上演しようと企画するのだが……。やがて、3人が投じた一石が、地域の中で輪を拡げていく。</p>					
46	花咲く日	50分	VHS	—	人権啓発課
<p>田舎で2人暮らしの老夫婦、母親の病気、両親の老いへの直面、同和地区出身の恋人と次男の結婚問題。家族が同和問題に直面し、各人が人間の尊厳と差別の実態の中で、その重要性を理解し、同和問題を解決していく人権啓発ドラマです。</p>					
47	三月三日の風－水平社誕生物語－	53分	VHS	—	人権啓発課
<p>(1996年作品)</p> <p>我が国最初の人権宣言ともいわれる全国水平社宣言の起草者であり、また数多くの素晴らしい絵画や戯曲を残した西光万吉をはじめ、阪本清一郎たち若者が中心となり、幾多の苦難を乗り越えて、自らの人権と人間解放をめざす全国水平社を創立する青春ドラマです。</p>					
48	ぬくもりの彩	36分	VHS	—	人権啓発課
<p>この作品は、突然、障害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれが同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品です。(1)高齢者をめぐるさまざまな問題について考え、高齢者と共に行きっていくために、私たち一人ひとりに何ができるのか、(2)同和地区に対する差別意識はまだ残っています。差別を温存し、助長するものは何か、(3)すべての人の人権が尊重され、差別のない社会を築くために私たちができることは何か、など考えてみましょう。</p>					

	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第5巻 一峠を越えて一	25分	VHS	—	人権啓発課
49	<p>あらゆる差別をなくしたいー森口健司さんは、その果てしない闘いに生涯をかけている。中学校教師としてユニークな同和教育「全体学習」を実践、そこで培われた豊富な体験と強い信念のもとに、現在は徳島県の派遣社会教育主事として、差別解消への道筋をエネルギーに語り続けている。座右の詩“よろこび”「・・・ゆくさきは幾多迫害ありとてもこの営みはわが終生の運命なりしかしてこの営みはわが生命の生きがいにしてわが生命のよろこびなり」。森口さんは、この道をまっすぐに歩きつづける。</p>				
	らくがき	35分	VHS	—	人権啓発課
50	<p>この作品は、駅のトイレに書かれた差別落書きに対して「積極的に取り組む人や差別の問題を他人事と考え、何とも思わない傍観者」など、いろいろなタイプの人が登場します。私たちは、差別らくがきを発見し、差別に気づいたときどう行動するべきかをこの作品から学びます。</p>				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第6巻 一差別っていったい何やねん一	30分	VHS DVD	—	人権啓発課
51	<p>(2004年作品) 世代を超えて伝えなければならない強い思いがあるー差別のない社会を願い、懸命に生きてきた父や母、祖母、そして多くの先輩たち。シリーズ第6巻の主人公・川口泰司さんは26歳、その思いを語り継ぐ新世代である。差別の本質を追及し、自分の言葉とわかりやすい表現で語りかける川口さん。足元を見据えた日々の地道な活動に裏付けられたハートフルでエネルギーな講演は今、多方面から注目され多くの共感を呼んでいる。</p>				
	残された日記	56分	VHS	—	人権啓発課
52	<p>ものがたりは、早坂栄一が、突然に亡くした妻の佐代子の日記を読んだ時から始まる。日記の中では、いつも控えめで従順だった妻が、驚くほど自由に生き、自分を表現していた。そして佐代子に強い影響を与えていた本間みつ枝の存在とその孫の慎吾が書いた詩の作曲を自分に依頼していることを知る。みつ枝を訪ねた栄一は、差別が故に親から冷たく捨てられながら同和地区で誇り崇く生きるみつ枝の存在に圧倒され、この問題を避けていた自分を恥じる。45年ぶりに作曲を始めた栄一は、捜し求めた本当の佐代子をみいだす。共に生きることの意味を生きあう中の大切なものを。</p>				
	人にいちばん近いまち2ー共に咲くよろこびー	54分	VHS	—	人権啓発課
53	<p>この作品は、小学6年生の不登校の少年トオルが、部落差別と闘ってきた邦衛老人やホームヘルパーの純子との出会い、また自然とのかかわりを通じて「人」として生きることを問いかけています。</p>				

	ラブレター	54分	VHS	—	人権啓発課
54	<p>「私を大事にしてください。私もあなたを大事にしますから」 こんなラブレターをもらったら、どうしますか？ それが地区出身者、在日外国人、そして苦手なクラスメートからなら？</p> <p>差別に苦しむ人々は、自尊感情を失ってしまうことがあります。果たして、それは仕方がないことでしょうか。「人はみんな愛される資格がある」これがこの作品のテーマです。それは、心に傷を持つ少女の成長とともに浮き彫りになります。彼女が勇気を持って書くラブレター。「ありのままの私を受け止めてください」これは、この物語を見ている人々に受け取ってもらうためのラブレターです。差別のない社会を生み出す力は、一人一人の心の中にあるのです。</p>				
	善良な人々	56分	VHS	—	人権啓発課
55	<p>従来、同和問題啓発映画は、社会悪である差別の原因を設定し、これを指摘することによって、互いの関係が修復し、差別が解消されるという展開をとってきました。差別は特別な邪心に宿り、その邪悪さを取り除けば解消に向かう…。しかし、現実にはそんな単調な構図が当てはまるでしょうか。この映画は、このような今までの展開から少し離れる試みです。差別は、特別な悪意にだけ根付くものではなく、だれにもある日常の中に、しかも善意の中にも存在する。その日常を問題にしない限り差別の正体に近づくことができない。このため、どこにもある家族の日常を、異なる観点から、三話のオムニバス形式で描いています。</p>				
	ツインズ17(セブンティーン)	55分	VHS	—	人権啓発課
56	<p>高校2年生の秋沢真希と友希は双子の兄弟。姉は剣道部員で何事にも積極的、差別の現実から目をそらすことなく、ムラ(同和地区)の子ども達と共に逞しく生きる。妹は郷土の先人、三木露風や三木清に憧れ、文学や哲学に心を奪われ、広く世界に旅立っていくー！人権啓発啓発ドラマ『セピア色の風景』に続いて尾城文雄が書き下ろした人権同和問題の解決に鋭く迫る、感動の大作です。</p>				
	風と大地と梨の木と 第1章「故郷はひとつ」	45分	VHS	—	人権啓発課
57	<p>故郷で梨づくりを始めて六年目の信彦一家。そこへ、大学での親友高岡が帰郷してきた。彼は同和地区出身で、家族を都会へ残してのUターン。信彦の母ツネは、世間体を思うあまり、高岡との度を過ぎる付き合いは、この村では出来ないと厳しく断る。傷つきながらも、高岡はふるさとを一望できる丘へ信彦を誘う。(この大自然はふるさとを分けない・・・故郷はひとつだ・・・)と高岡は言う。何がこんなに人を分けるのか、自分たちに今できる事は・・・信彦たち一家は高岡をめぐるて.....</p>				
	ひかり	50分	VHS	—	人権啓発課
58	<p>ある高校生が、インターネットでの「見えない相手」との対話を通して、自分のなかの差別意識に気づき誤った思い込みが、いかに差別に結び付いているかに気づく。</p>				

59	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第7巻 人間の尊厳を求めて	25分	VHS	—	人権啓発課
	森田益子さん81歳。部落解放同盟中央執行委員婦人対策部長や高知市会議員、県会議員などを歴任。現在は(社)高知市労働事業協会理事長として若々しくエネルギーに前線を指揮している。2004年、自力自闘で作上げた「やさしい里」は、解放運動50年に及ぶ森田さんの集大成の場。人間の尊厳を求めて—その貧しく苦しい生い立ちから学び、人との出会いや長い闘いの仲で身につけた理論と実践の後に、成果という大きな足跡が遺っている。				
60	今でも部落差別はあるのですか？	38分	VHS	字幕	人権啓発課 労働雇用政策室
	差別には、見えるもの(実態的差別)と見えないもの(心理的差別)とがあります。同和地区の外で再生産される偏見・差別と忌避する気持ちという今日的な問題についてドラマで提起し、解決の道筋を考え合うビデオです。				
61	見えないラインドラマ&インタビュー	55分	VHS	字幕	人権啓発課
	差別は心の問題？心に宿る差別を理性で抑える・・・そうすれば社会から差別がなくなる？ この映画は上の命題への疑問をもとに作られました。 差別を問題にする場合、社会のあり方を問わないわけにはいきません。 ここでは現実の社会がもつ矛盾を「学歴」「階層」「不平等」などをキーワードに映画が構成されています。このためドラマを基軸にしながらも多くのインタビューを試みています。				
62	私の好きなまち	35分	VHS	字幕 副音	人権啓発課
	私たちの住む地域、家庭、職場、学校には、人の数だけ価値観や生き方があります。しかし、時として人は「異質なもの」や「自分とは異なる考えを持つもの」を特別視したり、排除したりしがちです。この作品は、誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、「それぞれの違いを認め合い、共に生きる」「相手を思いやる」「夢をもって生きる」ことの大切さを私たちに訴えかけています。そして同和問題を今日的な視点から見つめ直すことで、私たちの日常生活を人権の視点から考えることの大切さと私たち一人ひとりが「人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり」の主役であることに気づいていただくために制作されました。				
63	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第9巻 私からはじまる人権	27分	VHS	—	人権啓発課
	柴原さん(43歳)は、大阪府人権協会の人権啓発部長。宮前さんは(41歳)は、大学で人権問題の講座を担当。2人は1993年に結婚、ともに人権問題に深くかかわる人生を選択してきた。3人の子どもたちに恵まれた今、一番の問題は小学3年になった上の子に、部落出身をどう伝えていくかということ。仕事の上で、生活の場で、2人の共通のテーマはまさに「私からはじまる人権」の実践であり、「そしてあなたは？」の問いかけである。				

	青春ヒューマン・ステージ	31分	VHS	字幕	人権啓発課
64	<p>本日ビデオは、様々な人権問題の固有の経緯や課題を踏まえ、その根底にある共通の差別構造を見極めることを通して、豊かな人権感覚を身に付けることを狙いに制作されました。</p> <p>高校放送演劇部に所属する美和は、創作劇に使用するため先生から勧められた「筑前竹槍一揆」のビデオを鑑賞するが、「一揆勢が何故、被差別部落を焼き討ちしたのか？」との疑問が残る・・・。</p>				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第4巻 人の世に熱と光を	26分	DVD	—	人権啓発課
65	<p>(2001年作品)</p> <p>21世紀の人権文化の思想的原点である『水平社宣言』。その精神を清原隆宣氏は、ズバリ「水平のものさし」の見直しという。人は何故、平等になれないのか。人は何故、尊敬し合えないのか。西光万吉の系譜を引く清原隆宣氏を通して、『水平社宣言』の核心を描いたノンフィクション作品です。</p>				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第24巻 皮革から見える部落問題	27分	DVD	—	人権啓発課
66	<p>(2014年作品)</p> <p>皮革を通して部落問題を伝え続ける、皮革研究家・柏葉嘉徳さん(71)。自身の工場でのユーモアあふれる講演と皮なめしの体験学習が参加者の意識を大きく変えていきます。柏葉さんは皮革の本場イギリスにも招かれ、日本人では初めて皮革技能士の称号を授与。大学でも講演されました。文化を切り口に部落問題を見つめ直す作品の一つです。</p>				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第26巻 生きた童話を届けたい	28分	DVD	—	人権啓発課
67	<p>(2014年作品)</p> <p>途絶えていた猿まわし芸を復活させた功労者の一人、筑豊大介さん(58)。叩き仕込みではなく、言って教える本仕込みの教育論が注目を浴びています。一時は消滅していた猿まわし復活の三原則は、部落問題・人と人とのつながり・平等。そして「生きた童話」の再現でした。文化を切り口に部落問題を見つめ直す作品の一つです。</p>				
	部落の心を伝えたいビデオシリーズ 第30巻 一差別を問うた20年／29の証言一	30分	DVD	—	人権啓発課
68	<p>(2016年作品)</p> <p>『部落の心を伝えたいシリーズ』は、当事者が自ら出演し部落問題の本質を語るという独自のスタイルを確立、全国から熱い指示を受けてきた。シリーズ第1作から20年、全29巻の出版を果たした今、20年を俯瞰し語り部たちの至言を網羅した本巻。部落問題の最適のテキストとしてシリーズの入門編として中高生たちにも幅広く活用していただきたい特別版。</p>				

	今そこにいる人と、しっかり出会う ー同和問題ー	24分	DVD	字幕 副音声	人権啓発課
69	<p>(2020年作品)</p> <p>同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるといふ理不尽な差別といえます。いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起こっています。同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品です。</p>				

同和問題・アニメ

NO	タイトル	時間	ビデオ媒体	字幕等	所管
1	にんげんの詩	26分	VHS	—	人権啓発課
	(1988年作品) 誰もが、自由で平等に生きる権利を持っています。しかし、もしもその自由で平等に生きる権利が踏みにじられたとしたら・・・？ この作品は、ふとしたことから同和問題に直面することになった18歳の少女が、封建時代にタイムスリップして同和問題の根源を追い求めていきます。				
2	きずな—にんげんの詩パート2—	30分	VHS	—	人権啓発課
	(1990年作品) 江戸時代に確立された身分制度による部落差別は、21世紀に入った現代もなお、社会的事実として残っています。この作品は、部落差別の典型的な例である結婚差別をとりあげ、部落差別がいかにかに不当なものであるか、また、どうしたらこの問題を解決することができるかを考えようとするものです。				
3	未来からのメッセージ	25分	VHS	—	人権啓発課
	(1989年作品) 応募者の適性や能力に直接関係のない事柄を取り上げ、予断と偏見をもって採否を決してよいものでしょうか。顔かたち、生まれ育ち等どんな違いがあろうとも、この世に生きている人間としてみんな平等であり、社会的に差別されないということは当然です。この作品は、就職差別に焦点をあてた、SF同和問題啓発ビデオです。				
4	まっ赤になったにわとり	44分	VHS	—	人権啓発課
	(1990年作品) 河内の国を舞台に、差別と権力に立ち向かう村人の抵抗の姿を、にわとりや子どもたちの行動を通して訴えた作品です。				
5	燃えろ！青春のかがり火	30分	VHS	—	労働雇用政策室
	(1992年作品) 二人の若いカップルが結婚差別に正面から立ち向かい、やがてその姿に感動した周囲の人々の共感を呼びます。				
6	天気になあれ	41分	VHS	—	人権啓発課
	(1994年作品) 岸キヌエさんの原作「みやらけの子守歌—岸キヌエの生きてきた道—」をもとにこの物語は作られました。原作者が昭和初期の少女時代から昭和40年代の壮年期にいたる記録を、三部作にまとめたものです。差別に耐え、貧困に苦しみながらも子どもたちに将来を託して闘った女性の物語です。				

7	友情のキックオフ	27分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1994年作品)</p> <p>転校生の少年を迎えて、初めて<差別>に出会った子どもたちの波紋をとらえ、その中で積極的に考え行動しようとする主人公の少女を軸に、望ましい真の友情のあり方を探り、「差別しない、させない、許さない」という子どもたちの認識の高まりを描いています。(小学校高学年以上対象)</p>				
8	芽 吹 き	41分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1994年作品)</p> <p>切り倒された樗(けやき)の木に結婚差別が隠されていました。いじめに遭っていた小学生典子を助けた剛ら高校生たちと、息子の結婚相手を同和地区の人だからと反対して息子を失った母親との出会い。このことで苦しみ抜いてきた母親と、部落出身の剛。二人が救いの手を差し伸べた少女の思いやりが彼らの心に愛の火を点し、素晴らしい結末に導いていきます。</p>				
9	菜 の 花	20分	VHS DVD	—	人権啓発課
	<p>(1995年作品)</p> <p>昔々、ある村に庄七という働き者がいた。庄七の楽しみは酒を飲むこと。しかし、差別のために庄七たちこの村のものは、本村の酒屋の敷居をまたぐことを許されなかった。そしてとうとう業を煮やした庄七はあることを決意する…。</p>				
10	渋染一揆—明日に架ける虹—	30分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2001年作品)</p> <p>渋染一揆は、江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも人間としての誇りをかけた要求を貫いて成功させた取り組みです。</p>				
11	美しいメッセージ	27分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2001年作品)</p> <p>テーマは心のネットワークです。10代後半をはじめ、若者たちの心の喪失が言われて久しくなります。だが、果たして彼らは本当に心を閉ざしているのでしょうか。本音では、皆、心の交流を望んでいるのではないのでしょうか。この物語では、日本の、大阪の片隅でひとりの少女が「差別はおかしい」と心の叫びを上げます。その小さなメッセージが、多くの若者を経て世界中に伝わり、人々の心の門を叩きます。そして、たくさんの人達がそれに応え、灯りを点滅するのです。</p>				
12					

13	いのち輝く灯	48分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1998年作品)</p> <p>ツアーコンダクターの奈津子は、恋人雅人との結婚を夢みるが、部落差別の壁がたちはだかり、彼女の父親は猛反対する。そんな中、奈津子は交通事故で一生車いすという障害を持ってしまふ。将来を悲観する彼女の元に届いたのは、かつて、奈津子がツアーでお世話をした盲目の老人昭吉の手紙であった。</p>				
14	チェリーブラッサム	42分	VHS	—	人権啓発課 労働雇用政策室
	<p>(1992年作品)</p> <p>このアメージング・アニメーションは、3つのエピソードでオムニバス構成されています。私たちが友情や愛情のかかわりの中で、差別と直面した時どうするかを、問いかけを映画化した作品です。</p>				
15	同和問題と人権—あなたはどう考えますか—	28分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2009年制作)</p> <p>会社でセクハラなどの人権問題を担当する大月友一は、両親の体験を聞き、部落差別、同和問題について知識を深めていく…。同和問題について考えるアニメーション作品です。ツアーコンダクターの奈津子は、恋人雅人との結婚を夢みるが、部落差別の壁がたちはだかり、彼女の父親は猛反対する。そんな中、奈津子は交通事故で一生車いすという障害を持ってしまふ。将来を悲観する彼女の元に届いたのは、かつて、奈津子がツアーでお世話をした盲目の老人昭吉の手紙であった。</p>				

同和問題・ドキュメント

NO	タイトル	時間	ビデオ 媒体	字幕等	所 管
1	<p>繁栄の時代(とき)を支えて</p> <p>(1992年作品)</p> <p>人間は平等であり、差別があってはならないということは、理念として誰でも行き着く考えである。しかし、多くの方は、差別と自分とは直接係わりないと考えていないでしょうか。この作品は、各地の同和地区の人々の生きざまを通して、なぜ同和問題が今日なお存在しているのか問題を提起しています。</p>	54分	VHS	—	人権啓発課
	<p>家族—部落差別を生きる—</p> <p>(1988年作品)</p> <p>親子二代にわたって差別を受け続けている一家、他の地区から来て、結婚後、差別の厳しさを知る妻。それぞれが語る結婚差別の体験と実態。同和地区の人々の仕事も丹念に写しながら、カメラとマイクは、21歳の青年の自殺が引き起こした波紋を追っています。</p>	35分	VHS	—	労働雇用政策室
3	<p>叫びとささやき</p> <p>(1992年作品)</p> <p>被差別部落である更池における「今日的な差別とは何か」を縦軸に、部落差別と在日韓国・朝鮮人差別を横軸にして構成されたドキュメント作品です。</p>	45分	VHS	—	労働雇用政策室
	4				
5	<p>それぞれの音色—太鼓の町に生きる—</p> <p>(1998年作品)</p> <p>太鼓は日本の伝統芸能、文化として高い評価を受けていますが、この太鼓をつくる人々のことはあまり意識されてきませんでした。大阪の浪速は太鼓づくりの町。地域の若者たちが太鼓集団『怒』(いかり)を結成、国内外で活躍しています。この作品では、太鼓職人の技術と想い、また『怒』の活動を通じて、差別の現実と向き合い、人間解放を目指す若者たちの姿を追っています。</p>	38分	VHS	—	人権啓発課
	6	<p>風化からの告発</p> <p>(1999年作品)</p> <p>1975年の部落地名総監事件から二十有余年。あの時の戒めを破り差別を商う調査会社。企業と市民の差別意識を鋭く問うドキュメント映像です。</p>	32分	VHS	—

	あすにつぐもの	40分	VHS	—	人権啓発課
7	<p>(1999年作品)</p> <p>竹かんむりの漢字は数多く、暮らしの中で、いかに重要な役割を占めてきたかがわかります。被差別部落の人々は箕(み)や箆(ざる)など生活用具を生産し、「細工もの」と蔑視されてきた歴史があります。しかし、今伝統的な技術であり文化である竹細工をささえ、その仕事に誇りをもち、創造的に継承しようとしています。</p>				
	琴美の決意～差別なき未来に向かって～	37分	VHS	—	人権啓発課
8	<p>(1999年作品)</p> <p>琴美さんには1歳6ヶ月になる男の子がいる。夫の太郎さんと共に、働きながら子育てに懸命の毎日を送っている。琴美さんの両親は、家族の猛反対の中で結婚した。今も母の生家とは断絶したまま。中学生のときに差別文書事件を経験し、付き合いたいと思った人に受け入れてもらえなかった経験を持つ琴美さん。「差別をなくすには、差別を受けた側が訴えていくしかない」琴美さんは、わが子のためにもと、勇気を持って自分の思いを語り始めた。</p>				
9					
	いま、部落を語る若者たち	27分	VHS	—	人権啓発課
10	<p>(2004年作品)</p> <p>部落の「いま」が知りたい。被差別部落を取り巻く若者たちの言葉で、部落を語って欲しい。この思いを原点に、取材をもとに制作されています。若者たちは等身大の自分を語り、活動を語り、悩みを語ります。</p>				
	白紙のページ ～食肉と私たちの矛盾～	29分	VHS	—	人権啓発課
11	<p>私たちは自分たちの食を支える屠畜の現実を知らない・・・。</p> <p>私たちは、何ものかの命を奪い、自らの命を長らえています。それがもっとも端的に現れるのが食肉です。しかし、私たちはその過程を白紙のページにしたまま、自らのあり方を振り返ろうとしません。それどころか屠畜に関わる人々を差別する心までも用意しています。このビデオは食肉を支えている人々の思いを取材し、食卓に「肉」が供せられるまでの過程の記録を通して、私たち自身を考えさせてくれる作品です</p>				
	私の中の差別意識—部落差別問題から考える—	24分	VHS	字幕	人権啓発課
12	<p>(2010年作品)</p> <p>部落差別問題を通して、人の中に巣食う差別意識への気づきを促してゆきます。あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。</p>				

同和問題・教材

NO	タイトル	時間	ビデオ 媒体	字幕等	所 管
1	九兵衛六代記－近世身分制度を考える－	30分	VHS	－	人権啓発課
	大阪のある同和地区に残された資料をもとに創作したもので、被差別部落の成立をその当時の日本の歴史と関連させてとらえ、誰にでも親しみやすく、しかもわかりやすく学べるように人形劇を中心として描いている作品です。				
2	第1巻 部落差別のおこり以前を考える	21分	VHS	－	人権啓発課
	第2巻 部落差別のおこりを考える	22分			
	第3巻 部落差別解消への歩みから考える	23分			
	(1984年作品) 埼玉県が実施した同和問題意識調査の結果をいかし、被差別部落の歴史的背景の正しい理解をはかるため作られた作品です。第1巻は〈古代から中世まで〉、第2巻は〈秀吉の全国統一から江戸幕末まで〉、第3巻は〈明治から現代まで〉の構成です。				
3	日本の歴史と部落問題 1・前近代編／2・近代編／3・現代編	各60分	VHS	－	人権啓発課
	(1989年作品) このビデオは、最近の研究成果に基づいた同和地区の歴史を日本全体の中に位置づけ、学校、職場などの人権学習に活用しやすいよう編集したものです。				
4	部落の歴史				
	第1巻 前近代	40分	VHS	－	人権啓発課
	第2巻 近代	40分			
	第3巻 現代	45分			
(1990年作品) 「部落」とはなにか。なぜ、部落差別が今日も存在しているのか。各地の取材を通じて、ドキュメンタリータッチで迫っている作品です。					
5	けがれと差別意識	54分	VHS	－	人権啓発課
	(1993年作品) 「けがれと差別意識」～差別を生む日本人の精神構造とは？…その核心に迫ります。また、芸能や庭園造りをはじめ、日本を代表する数々の芸術を生んだのはどういう人たちであったのか？その歴史を見つめ直し、差別することの矛盾を明らかにしている作品です。				

6	この街に生きる	34分	VHS	—	人権啓発課
	<p>この作品は、企業人たちが会社という組織から離れ、一個人として家庭に戻った時、家庭や地域社会の中で、どのように人々とかかわり合い、生きていったらよいのか、ということに焦点をおいて構成しました。また、同時にその周辺にひそんでいる日常のさまざまな問題を掘り起こしながら、幅広い意味での人権問題を考えていただく作品です。</p>				
7	「人権教育のための国連10年」と同和教育	55分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1997年作品)</p> <p>1995年から始まった「人権教育のための国連10年」の理念を受けて、今、同和教育・人権教育の場に何が求められているのか考えていくためのものです。ビデオは6つのテーマによって構成されています。</p> <p>① 戦後同和教育の歩み ② 同和教育の実践 ③ 部落の識字運動 ④ 「人権教育のための国連10年」とは ⑤ 人権教育の試み ⑥ 多文化教育と人権</p>				
8	人間の誇りー水平社宣言ー(ビデオ紙芝居)	20分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1990年作品)</p> <p>「…人の世に熱あれ、人間に光あれ」</p> <p>1922年3月3日、全国水平社創立大会で発せられた宣言は、人間個人の尊厳という考えに立った、まさに日本の「人権宣言」でした。ビデオでは、この水平社宣言誕生に至るまでの歩みを紙芝居として誰にも分かりやすく描いています。</p>				
9	川の約束	29分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2000年作品)</p> <p>豊かな自然をたたえる江の川の流域には、差別とたたかいながら知恵と技で築かれてきた漁労文化があります。川とともに育ち、川とともに生きてきた川漁師の姿を通して、地域を支える文化や生きざまを描きながら、部落差別の問題を考えます。</p>				
10	新時代へのステップ～同和行政の転換期～	29分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(2000年作品)</p> <p>同和行政のこれまでの取り組み、施策の評価、同和地区での取り組み及び今後の取り組みについて解説します。</p>				
11	「新しい世紀に向けて」同和行政 ～特別対策から一般対策～	28分	VHS	—	人権啓発課
	<p>(1999年作品)</p> <p>人権教育啓発推進センター理事長 宮崎繁樹氏 と西日本新聞社顧問 稲積謙次郎氏が、同和行政の変遷と今後の展望について語る。</p>				

12	<p>根っこのルール</p> <p>(1998年作品)</p> <p>このビデオは、一般対策の中で同和問題をどう捉えていくかの広報ビデオです。「人権とは」「同和問題とは」「同和問題の原因」「同和行政の変遷」「人権啓発の歩み」などの諸構成で構成され、聞き役と説明役の掛け合いでひも解いていきます。子どもの遊び、差別事象のドラマ、総務庁地域改善対策室長と宮崎繁樹元地域改善対策協議会会長(現:(財)人権教育啓発推進センター理事長)の対談などを織り込んで、同和問題に迫り、地域改善対策を一般対策として取り組む意味などを提唱しています。</p>	37分	VHS	—	人権啓発課
13	<p>そっとしておけば</p> <p>・・・寝た子を起こすなという考え方</p> <p>(2004年作品)</p> <p>「そっとしておけば自然と差別がなくなる」という考え方は、根強く存在しています。部落問題の解決にとって、古くて新しい課題です。考えること、話し合うことを大切にした人権研修やワークショップでの活用にも最適な、新しいタイプのビデオ教材です。ドラマ構成による問題提起(約26分)とCGと資料を使った解説(約10分)の2部構成となっています。</p>	36分	VHS	—	人権啓発課
14	<p>同和問題</p> <p>これからの課題 「特別措置法」の期限を迎えて</p> <p>永年にわたる差別により、被差別部落の人々は厳しい生活を強いられました。差別解消をめざし、1969年に「同和対策事業特別措置法」が施行され、環境の改善や雇用促進などの「同和対策事業」が政府により実施されました。そして、同和地区の環境が整備されていく中、2002年3月に「特別措置法」の法期限を迎え、この法律に基づく33年にわたる「同和対策事業」は終了したのです。</p> <p>1974年作品「差別と人権の歴史」、1979年作品「部落差別とは何か」のドキュメンタリー映像資料から、当時の同和地区の状況を知るとともに、現在の同和地区を現地取材し同和問題の今を見つめます。「同和対策事業」の33年間を総括して、同和問題の何が変わって何が変わらなかったのかを検証し、これからの同和問題を考えます。</p>	28分	VHS	—	人権啓発課
15	<p>同和問題の早期解決に向けて</p> <p>平成8年3月に出された地域改善対策協議会総括部会報告書では、物的な基盤整備は進んだものの、差別意識はなくなっていないことを明らかにしています。このビデオは対話形式で、同和問題の昨日、今日、明日の現状と課題をのべています。差別意識をなくすためには、正しい理解、認識をもつための学習会や講演会への参加、家庭・学校・職場・地域など身近な場で人権意識を高めることが重要であることを訴えています。</p>	23分	VHS	—	人権啓発課

16	ヒューマン博士と考えよう	28分	VHS	—	人権啓発課
	<p>本作品は差別の歴史をひもときながら、差別された人々の生産と労働、芸能や文化への関わりを、ヒューマン博士がわかりやすく解説しています。学校では、人権学習の「導入」や「まとめ」の教材に、地域や職場においては、今日の部落差別史観に基づく啓発教材として幅広く活用できます。</p>				
17	部落の歴史(明治～現代) ～近代化が存続させた差別～	26分	VHS	字幕	人権啓発課
	<p>(2007年作品) ここ20年にわたる大きな部落史観の転換をうけつくられたビデオ「部落の歴史」(中世～江戸時代)(明治～現代)の2本うちの後段編です。1871年「解放令」、1922年「全国水平社創立」、1951年「オールロマンス闘争」、1969年「同和对策事業特別措置法施行」から「部落地名総監事件」など。</p>				
18	差別意識の解消に向けて				
	〈第1巻〉人権のまちづくり	29分	VHS & DVD	字幕	人権啓発課 労働雇用政策室
	〈第2巻〉宅地建物取引における土地差別	22分			
	〈第3巻〉土地差別問題を考える	24分			
<p>大阪人権問題映像啓発推進協議会が作成したビデオです。第1巻は府民向け、第2巻は宅建業者向け、第3巻は行政職員向けとして、今なお根強く残る「同和地区の土地に対する忌避意識」の問題から差別意識の解消を考えます。</p>					
19	部落の歴史(中世～江戸時代) ～差別の源流を探る～	27分	VHS	字幕	人権啓発課
	<p>(2007年作品) 部落史は変わった！新しい部落史像を 監修:関西大学文学部講師 上杉 聡 小・中学校の教科書から「士農工商えた非人」や「部落は江戸時代に作られた」という記載がほとんど消えてしまいました(01、05年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解がここ20年歴史研究者の間に定着してきたためです。この大きな部落史観の転換を受け、作られたのがこのビデオです。</p>				
20	部落解放運動の歩み 人間は尊敬すべきもの	60分	DVD	—	人権啓発課
	<p>この作品は、部落解放運動の戦前編、戦後編Ⅰ、戦後編Ⅱの三部構成で、水平社運動の始まりから水平社の創立。戦後の解放運動の再開、行政闘争の開始と運動の取組、同和教育の広がり、差別事象への取組など実践的なもの。また、部落解放基本法の制定を求めての運動など部落解放と人権確立をめざしての活動などの内容に成っています。</p>				

21	シリーズ映像でみる人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」	16分	DVD	—	人権啓発課
	(小学生版、中学生以上版があります)				
<p>人権を侵害されてきた人々について、私たちは「マイナス・イメージ」でとらえがちです。しかし銀閣寺や龍安寺の庭園などをつくったのは、実は「河原者」であったという歴史的事実は、こうしたイメージをまったく逆転させました。「河原者は差別を受けていたにもかかわらず偉大な芸術家になった」という事実を、丁寧に描いた教材です。</p>					
22	シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々	15分	DVD	—	人権啓発課
	(小学生版、中学生以上版があります)				
<p>中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで身分を固定され、江戸時代に「制度化」されたことを、分かりやすく解説し、積極的に新しい図式を提示しました。また部落差別の学習を通して、「イジメ」の問題を考えることや、中学生以上版では「非人」の存在を現代の「ホームレスの方々の人権」と関連させ発展的に学習できる工夫を加えています。</p>					
23	同和問題～過去からの証言、未来への提言～①	61分	DVD	字幕 副音声	人権啓発課
	同和問題～未来に向けて～②	19分			
	<p>(①は人権教育・担当者向け、②は一般向け)</p> <p>日本固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身につけておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も合わせて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。</p>				
24	シリーズ映像でみる人権の歴史 第3巻 近代医学の基礎を築いた人々	17分	DVD	—	人権啓発課
	(小学生版、中学生以上版があります) (2015年)				
<p>江戸時代中期、医学では漢方医の中から山脇東洋が、日本初の医学解剖を実施し観察しました。後に、西洋から入ってきた解剖書を手にも、解剖を見学した杉田玄白らがその解剖書を翻訳し、「解体新書」として世に出すこととなります。このときに、実際に臓器を解剖して見せたのは、当時、動物の死体を処理する仕事をし、人や動物の内臓を熟知していた人々でした。大切な命と向き合い、生きてきた人々の知識と技術に敬意を払う東洋と玄白の姿を、このDVDでは貴重な原書などを取材し描いています。</p>					

	シリーズ映像でみる人権の歴史 第4巻 明治維新と賤民廃止令	18分	DVD	—	人権啓発課
25	(小学生版、中学生以上版があります) (2015年) 部落問題には「迷信」がいくつもあります。1871年に明治政府の出した「穢多・非人」に関する布告もその一つです。これは「解放令」と呼ばれてきましたが、原文には「布告」とあるだけで「解放」の文字はどこにもありません。「解放令」と呼ばれるようになるのは50年後のことでした。このため本巻では、研究に基づく厳密な呼び方として「賤民廃止令」を使いました。部落差別を撤廃する本格的な動きは、差別されていた人々が「維新団」などの名で命をかけて幕府軍と戦い、大活躍をしたことに始まりますが、幕府が倒されると、人々は明治政府に裏切られ、そうした流れの中で「賤民廃止令」が出されたのです。このDVDでは最新の研究をもとに、明治政府が差別をなくすためではなく、地租改正により税を取る目的で「賤民廃止令」を出したことなどを公文書をもとに丁寧に描いています。				
	シリーズ映像でみる人権の歴史 第5巻 洩染一揆を闘いぬいた人々	18分	DVD	—	人権啓発課
26	(小学生版、中学生以上版があります) (2017年) 江戸時代中期、医学では漢方医の中から山脇東洋が、日本初の医学解剖を実施し観察しました。後に、西洋から入ってきた解剖書を手に入れた杉田玄白らがその解剖書を翻訳し、「解体新書」として世に出すこととなります。このときに、実際に臓器を解剖して見せたのは、当時、動物の死体を処理する仕事をし、人や動物の内臓を熟知していた人々でした。大切な命と向き合い、生きてきた人々の知識と技術に敬意を払う東洋と玄白の姿を、このDVDでは貴重な原書などを取材し描いています。				
	シリーズ映像でみる人権の歴史 第6巻 日本国憲法と部落差別	17分	DVD	—	人権啓発課
27	(小学生版、中学生以上版があります) (2017年) 部落問題には「迷信」がいくつもあります。1871年に明治政府の出した「穢多・非人」に関する布告もその一つです。これは「解放令」と呼ばれてきましたが、原文には「布告」とあるだけで「解放」の文字はどこにもありません。「解放令」と呼ばれるようになるのは50年後のことでした。このため本巻では、研究に基づく厳密な呼び方として「賤民廃止令」を使いました。部落差別を撤廃する本格的な動きは、差別されていた人々が「維新団」などの名で命をかけて幕府軍と戦い、大活躍をしたことに始まりますが、幕府が倒されると、人々は明治政府に裏切られ、そうした流れの中で「賤民廃止令」が出されたのです。このDVDでは最新の研究をもとに、明治政府が差別をなくすためではなく、地租改正により税を取る目的で「賤民廃止令」を出したことなどを公文書をもとに丁寧に描いています。				
	あなたに伝えたいこと	36分	DVD	字幕 副音声	人権啓発課
28	(2016年作品) ワークシートあり 同和問題は、さまざまな対策の結果、生活環境などのハード面の改善は進みましたが、結婚差別や身元調査など意識の面では依然として課題が残されています。また、インターネットには、利便性とともに、匿名性に関する誤った理解による差別的な書き込みやネット依存など陰の部分があります。この物語の主人公は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。主人公の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などとの関わりを通して、この問題が他人事でないこと、ネット上の情報だけではなく実際の人と触れ合う中で、お互いを正しく知り合うことが同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを明るい希望とともに伝えます。				

	部落史学習DVDシリーズ(芸能と文化編)	43分、 103分	DVD	—	人権啓発課
29	(2018年作品) 『被差別部落の芸能と文化』(43分)では、「人形芝居」と「太鼓」の伝承について、被差別部落が食文化に果たした役割について紹介します。『職人の技』(103分)では、部落の生活を支えたさまざまな産業・仕事に長年たずさわってきた職人が、仕事の中で身につけた技をみるとともに、語りを通して生活と部落の産業について紹介します。				